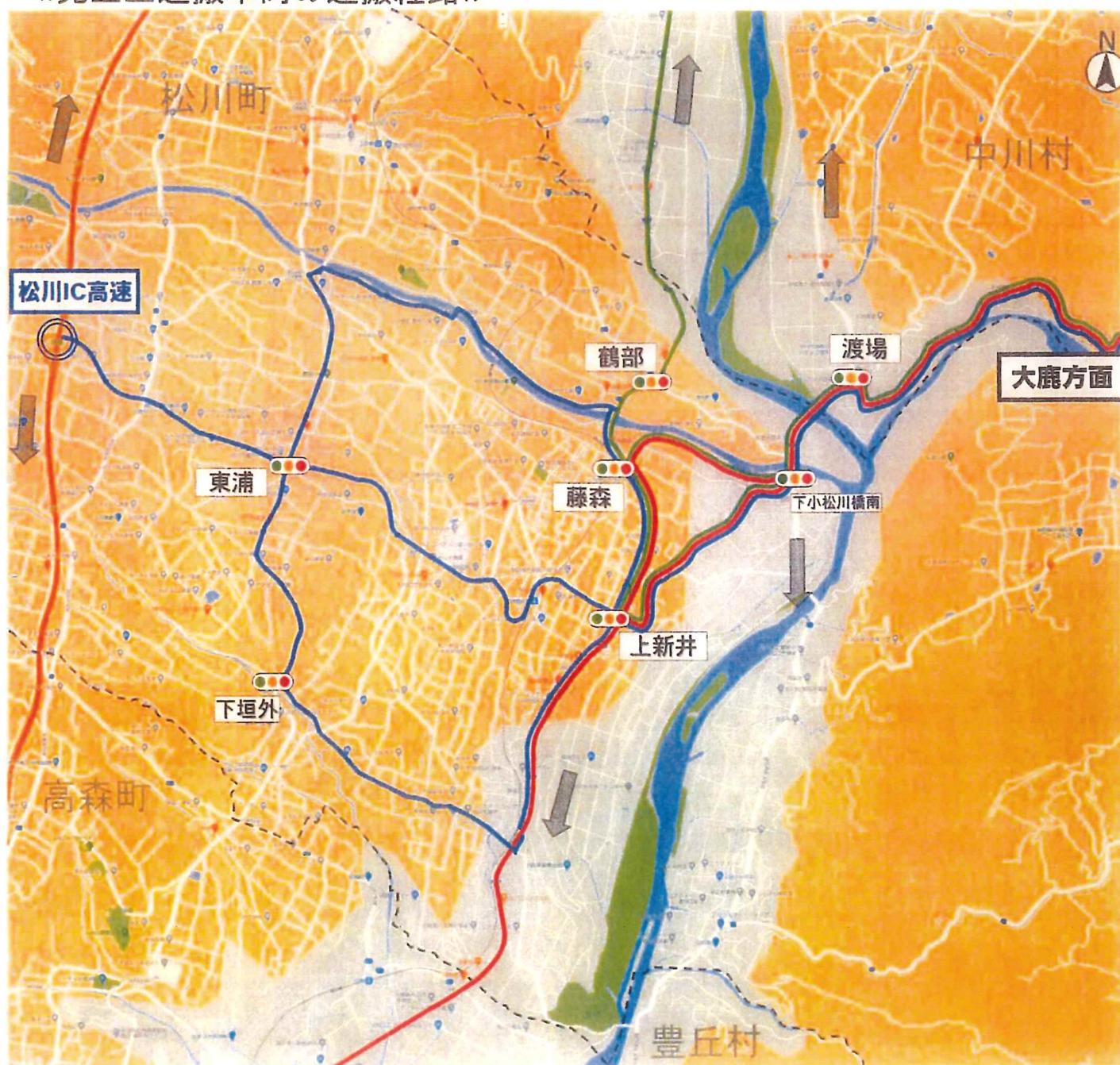


《大鹿方面からの総運搬台数の推移》

大鹿方面からの 発生土運搬	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度 以降
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
最大台数（片道/日）	〔100〕	〔150〕	〔150〕	450	450	450	550

※表中値は、県道松川インター大鹿線渡場交差点を通過する発生土運搬車両の台数

《発生土運搬車両の運搬経路》



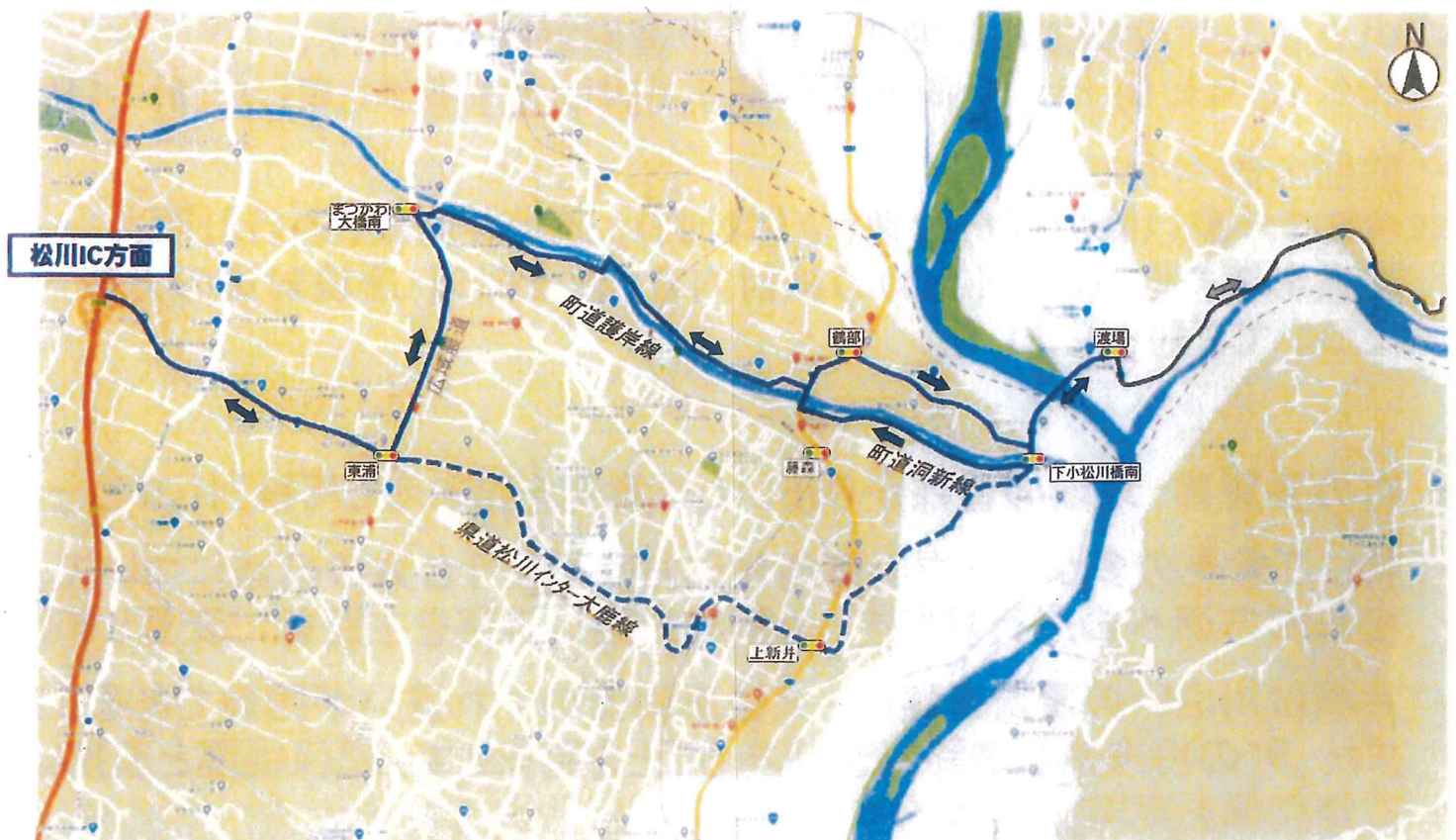
はじめに

【説明内容】

1. 発生土運搬台数について
2. 運行経路について
3. 片桐松川沿い道路工事の計画
4. 発生土運搬開始に向けた事前の安全対策について
5. ご意見・ご要望への対応について(その他)
6. 終わりに

3

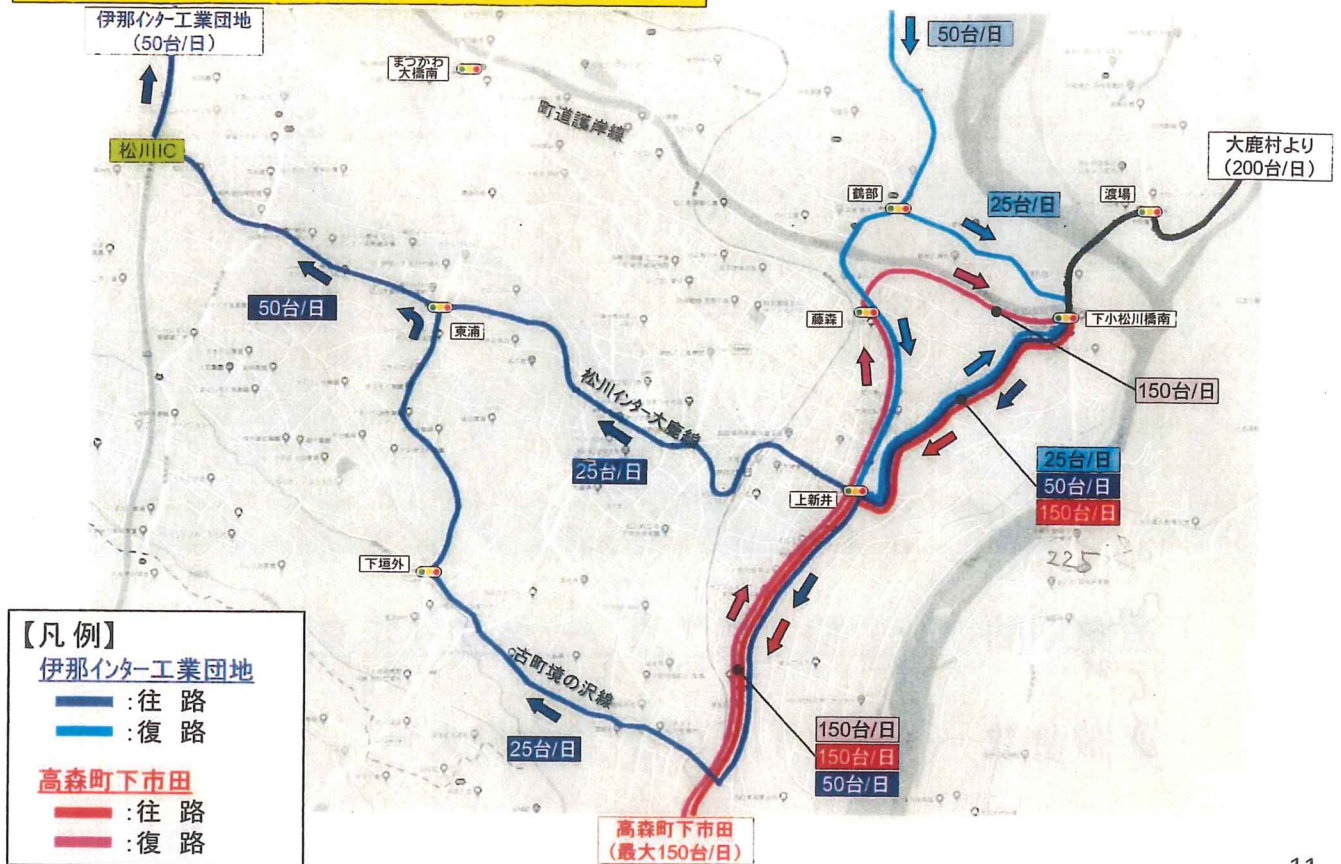
松川IC方面への運行経路の変更について



- ・ 中心市街地の通行台数を削減するために、片桐松川沿い道路の通行を基本とします
- ・ 片桐松川沿いの既存道路の拡幅及び町道新設を、関係機関と連携して実施してまいります
- ・ 道路工事期間中、県道松川インター大鹿線の通行についてご理解をお願いいたします

活用先への運搬計画(時期別ルート)

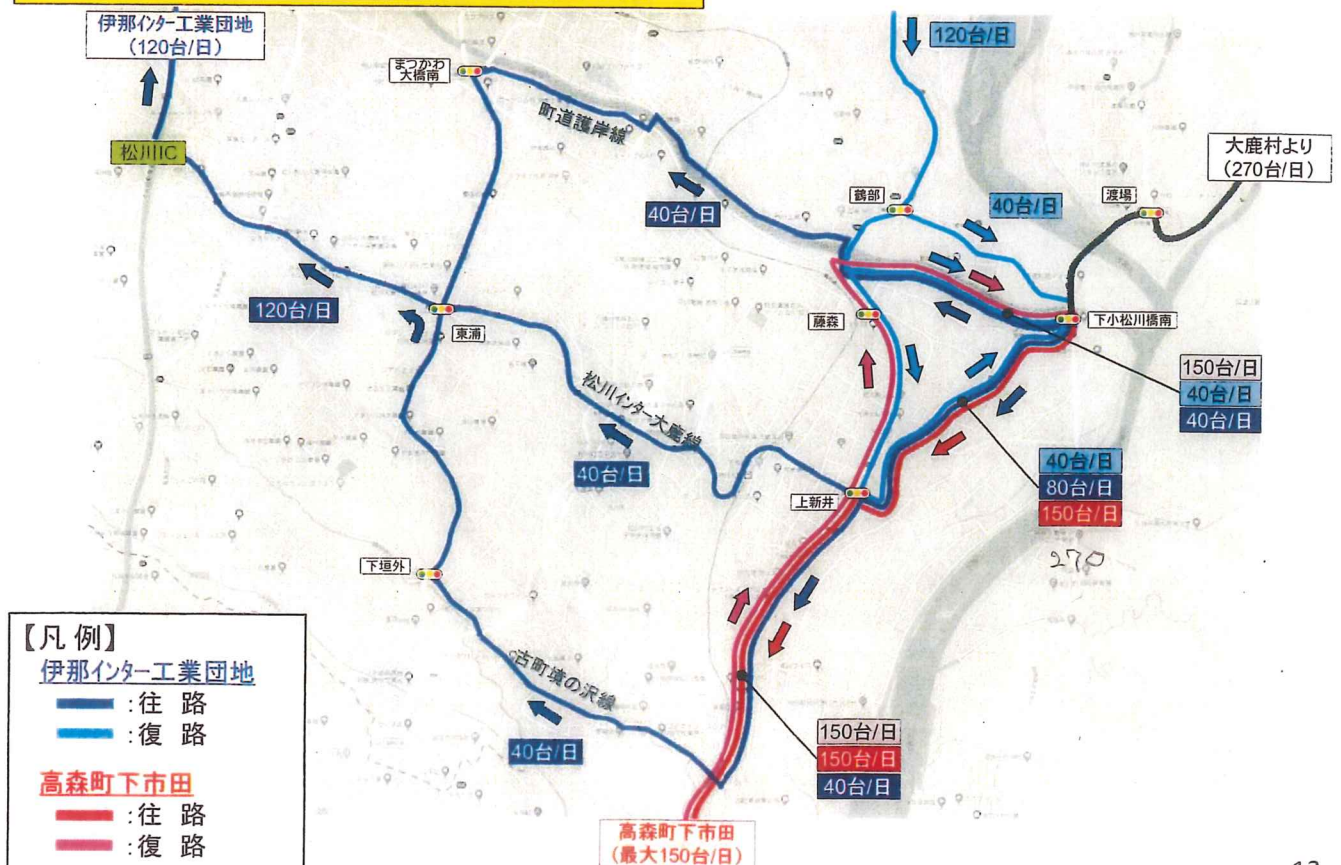
① 令和3年度(町道洞新線: 工事期間中)



11

活用先への運搬計画(時期別ルート)

② 令和4年度(町道洞新線: 工事完了後)



12

要 望 書

リニア中央新幹線の開業は、経済の活性化、交流人口の拡大など、当地域の発展に大きく寄与することが期待されています。しかしながら、現在計画されている大鹿村からのトンネル工事に伴う発生土運搬に関し、これまでの貴社からの説明に対し、当町の住民並びに各団体等から、通行の安全等に関する不安や住民生活、地域経済への悪影響を懸念する声が強く寄せられていることはご承知のとおりと存じます。

つきましては、住民の安心安全と平穏な生活等を守るため、発生土の運搬ルートについて、次のとおり要望いたします。

記

- 1 県道松川インター大鹿線の上新井交差点から東浦交差点までの間は、当町の中心市街地を通過する道路であり、住民生活や地域経済へ及ぼす影響が多いため、当該区間の通行台数の低減を図ること。
- 2 説明会で示された運搬ルートのうち、片桐松川沿いの町道は国土強靱化対策として常に確保すべき路線であることから、ダンプの通行はもとより住民が安心して通行できる道路として整備を行った後に運搬を開始すること。